

## 令和2年度オリンピック・パラリンピック教育の全体計画

	東京都
学校名(障害種別・学部) :	志村学園(就業技術科)
校長名 :	諏訪 肇

## 1 学校の教育目標

生徒一人一人の人権を尊重し、障害の特性等に応じた専門的な教育を推進するとともに、個性を伸ばし、豊かな人間性や社会性を育み、自立し社会参加できる生徒を育成する。  
 ※高等部就業技術科(職業学科)の教育目標：  
 企業就労に必要な基本的な資質・能力を養い、地域社会の中で自立し、生涯にわたって心豊かに生きていく人間を育成する。

## 2 各学校で定めるオリンピック・パラリンピック教育の目標

オリンピック・パラリンピック教育を通して、自他の違いや多様性を理解し、地域社会の一員として、主体的に社会参加する人材を育成する。

## 3 育てようとする資質・能力

- ・地域社会に積極的に参加していく態度。
- ・自身の障害を受容・理解し、お互いを認め合う態度。
- ・世界の多様な国々について、「文化」「歴史」特徴的な国技・スポーツ「言語」などの調べ学習を養う態度。

## 4 令和2年度に取り組む重点的な取組内容及び「学校2020レガシー」

## 「5つの資質」

ア	ボランティアマインド(人の役に立とうとする意欲)	○
イ	障害者理解(他者との相互理解)	◎
ウ	スポーツ志向(多様なスポーツへの親しみ)	◎
エ	日本人としての自覚と誇り(地域や社会の一員としての自覚)	○
オ	豊かな国際感覚(多様な人々との交流への意欲)	◎

※複数ある場合には、優先順位の高いものを◎

## 「学校2020レガシー」

- ・職業に関する教科(福祉、家政)をとおして、ボランティアとしての資質を高めていく。
- ・パラスポーツ等の体験を実施する。
- ・学校設定科目の「日本の伝統文化」において、日本の文化や歴史を学習する。
- ・東京五輪音頭の講習から、オリンピック・パラリンピックの意義や精神に結びつけての学習を進める。

## 5 「学校2020レガシー」の構築に向けた具体的な取組

- 1 ボランティアマインド
  - ・職業に関する教科(福祉、家政)で学んだことを生かし、高齢者施設でボランティア活動をしたり、高齢者を学校に招きレクリエーションをしたりする。また、生徒が運営するレストランで食事のおもてなしをする。
  - ・地域合同避難訓練では、災害ボランティアとして、①避難所への誘導や受付、②帰宅支援ステーションの開設などの活動を行う。
- 2 障害者理解
  - ・パラスポーツ等の体験を通して、パラスポーツ等の理解を深める。
- 3 スポーツ志向
  - ・第32回オリンピック競技大会・第16回パラリンピック競技大会(2020東京)に向けての歴史や精神を学習する。
  - ・夢未来プロジェクトとしてオリンピック・指導者を招いての実技指導及び競技体験の実施する。
- 4 日本人としての自覚と誇り
  - ・学校選択教科「日本の伝統文化」において、書道、将棋、風呂敷、建築等を学ぶ。
- 5 豊かな国際感覚
  - ・情報の授業において、「世界ともだちプロジェクト」として「レポート作成」を行う。